

# 酒の学校基本コンセプトについて [概要版]

産業部商工観光課商工観光係

## 1 酒のまち紫波として目指す未来の姿

- (1) 酒のまち紫波のビジョン
- (2) 酒のまち紫波のブランド確立に向けて
- (3) 酒のまち紫波の推進拠点

## 2 酒の学校の役割と目指すもの

- (1) 酒のまち紫波推進拠点「(仮称)酒の学校」のコンセプト
- (2) 重要視する視点
- (3) 酒の学校の役割
- (4) 酒の学校を通じて実現する未来

## 3 活用を想定する学校跡地

- (1) 候補地の選定理由
- (2) 都市計画上の位置付け
- (3) 対象地における都市計画情報
- (4) 施設概要及び仕様

## 4 ゾーニングの検討とパースイメージ

- (1) ゾーニングの検討
- (2) パースイメージ

## 5 整備方法及び運営体制の検討

- (1) 施設の整備方法
- (2) 設計段階の要検討事項
- (3) 運営体制

# 1 酒のまち紫波として目指す未来の姿

## (1) 酒のまち紫波のビジョン

酒と共にある暮らしを大人も子どもも愉しむまちをつくる  
～おもしろい！が止まらない。酒のまち紫波。～

## (2) 酒のまち紫波のブランド確立に向けて



100年後に100の醸造関連事業者を生み出す

## (3) 酒のまち紫波の推進拠点

醸造関連事業者の集積を進めるためには、外部から新たな人材を巻き込み、育成していく機能が  
必要だと考えられます。

## 2 酒の学校の役割と目指すもの

### (1) 酒のまち紫波推進拠点「(仮称)酒の学校」のコンセプト

新たな造り手のための学びと製造のオープンファクトリー  
～酒の関係人口の創出～

### (2) 重要視する視点

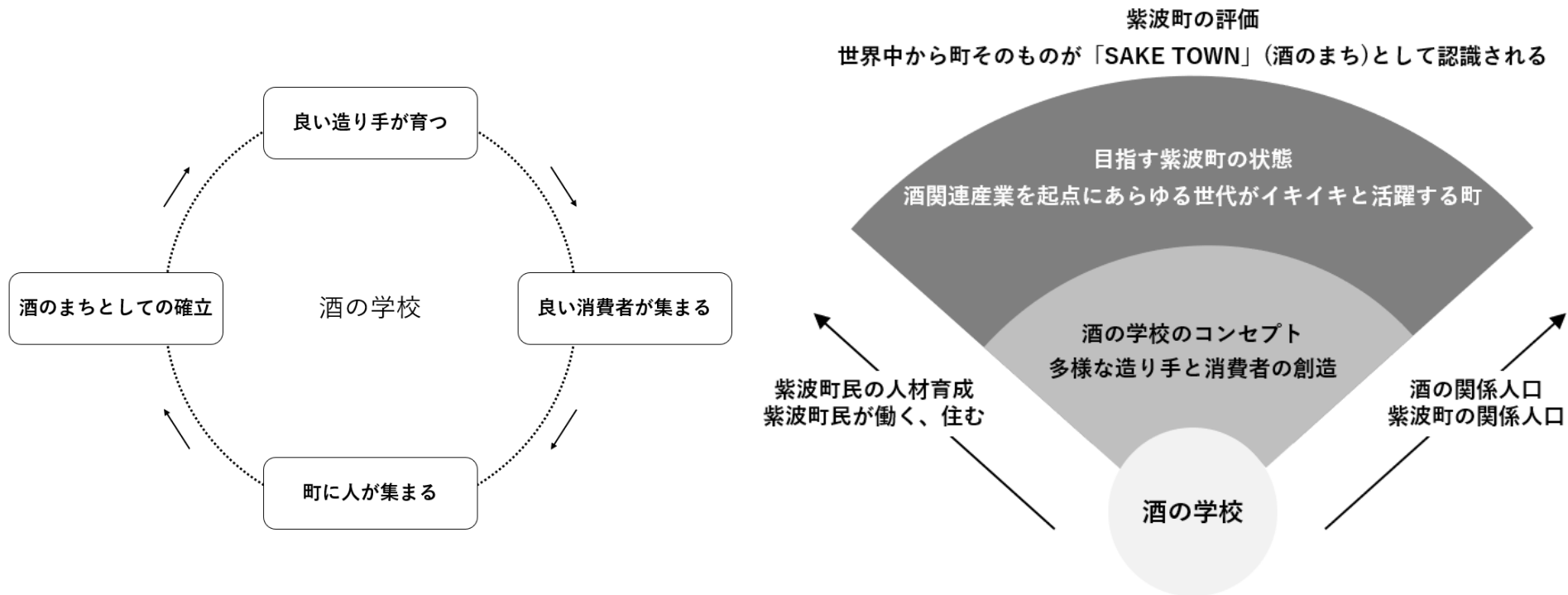
- ✓ 南部杜氏発祥の地という紫波町が持つ重要な価値に光を当てます。
- ✓ 南部杜氏の精神を大切にしながらこれからの時代に求められる新たな酒産業を模索します。

### (3) 酒の学校の役割

- ✓ 分野、立場、年代、地域といった属性が異なる者同士の繋がりや連携を生み出すことで、新たな価値や市場を開拓します。
- ✓ 酒を切り口に地域経済の循環や地域自治の発展に寄与します。
- ✓ オープンファクトリー概念を取り入れながら、新たに酒類製造を行いたい造り手が活用できるような醸造施設や設備の環境を整えます。
- ✓ 消費者が醸造の現場を学ぶ機会を提供することで、造り手側と消費者側に潜在しているニーズを掘り起こします。

## 2 酒の学校の役割と目指すもの

### (4) 酒の学校を通じて実現する未来



酒の学校が拠点となって「酒のまち紫波推進ビジョン」を推進することで、世界中から町そのものが「SAKE TOWN (酒のまち)」と評価される未来を目指します。

## 3 活用を想定する学校跡地

### (1) 候補地の選定理由

- ✓ 酒の学校の整備には、旧水分小学校の校舎、体育館及び敷地の活用を想定します。
- ✓ 水分神社の湧き水に代表されるような良質な水資源が豊富に存在します。
- ✓ 半径3 km圏内には廣田酒造店、吾妻嶺酒造店及び紫波サイダリーが立地しています。

### (2) 都市計画上の位置付け

- ✓ 都市計画マスタープランにおいて水分地区は農地、集落地、事業用地等として設定。
- ✓ 町の重要な産業である農業を担う地域として、農地や集落環境を守りながら生活基盤の向上を図ります。
- ✓ 保養・観光などの施設を核に、食や景観、歴史などの資源を絡めた観光交流を進めます。

### (3) 対象地における都市計画情報

- ✓ 旧水分小学校は用途地域の指定はされていないため建物用途の制限が少ないことから、酒の学校において醸造事業を想定することが可能です。

### (4) 施設概要及び仕様

- ✓ 給排水方式、ガス設備、電気設備は施設の用途によって更新を検討する必要があります。
- ✓ 耐震性能は問題なし。
- ✓ 建蔽率や容積率に余裕があるため分割賃貸や増築を検討することも可能です。

## 4 ゾーニングの検討とパースイメージ

### (1) ゾーニングの検討

- ✓ 1階部分は醸造機能を集約することが好ましいと考えられます。
- ✓ 2階部分は一般客が訪れる場所や事務所機能を集約することが好ましいと考えられます。
- ✓ 体育館は広い空間を確保できるため規模が大きな設備を備えることが可能です。

### (2) パースイメージ

醸造スペース



コミュニティキッチン



## 5 整備方法及び運営体制の検討

### (1) 施設の整備方法

- ✓ 酒の学校の整備及び運営は民間事業者の主体的な関与を想定しており、町が民間事業者に旧水分小学校を貸し出すことを前提とします。
- ✓ 町と民間事業者の双方間での最適な役割分担による整備方法を検討します。
- ✓ 酒の学校の事業内容は校舎及び体育館内での酒類製造を想定します。
- ✓ それに付帯する事業として地域住民や一般消費者が交流・体験できる飲食の提供、簡易的な宿泊などが考えられます。

### (2) 設計段階での要検討事項

- ✓ 醸造事業を行うためには酒類製造免許が必要で、酒の学校ではワイン、発泡酒、その他醸造酒など複数酒類の製造及び販売を行うことを想定します。それぞれの酒類において酒類製造免許を取得する必要があります。
- ✓ 酒類製造免許の取得、整備費用および継続的な運営を考慮すると、1つの事業者が複数の酒類製造免許を取得することが望ましいと考えられます。

### (3) 運営体制

- ✓ 旧水分小学校の借受人である運営事業者が酒類製造免許や酒類販売業免許等を取得して醸造事業を行うことを想定します。
- ✓ 必要に応じて別事業者への転貸借も想定します。